

がん検診の受診率向上施策及び 精度管理について

平成25年2月4日
厚生労働省健康局
がん対策・健康増進課

がん対策推進基本計画 早期発見部分(抜粋)

取り組むべき施策

- 市町村によるがん検診に加えて、職域のがん検診や、個人で受診するがん検診、さらに、がん種によっては医療や定期健診の中でがん検診の検査項目が実施されていることについて、その実態のより正確な分析を行う。
- がん検診の項目について、国内外の知見を収集し、科学的根拠のあるがん検診の方法等について検討を行う。都道府県は市町村が科学的根拠に基づくがん検診を実施するよう、引き続き助言を行い、市町村はこれを実施するよう努める。さらに、職域のがん検診についても科学的根拠のあるがん検診の実施を促すよう普及啓発を行う。
- 都道府県は、生活習慣病検診等管理指導協議会の一層の活用を図る等により、がん検診の実施方法や精度管理の向上に向けた取組を検討する。
- 精度管理の一環として、検診実施機関では、受診者へ分かりやすくがん検診を説明するなど、受診者の不安を軽減するよう努める。
- 受診率向上施策については、これまでの施策の効果を検証した上で、検診受診の手続きの簡便化、効果的な受診勧奨方法の開発、職域のがん検診との連携など、より効率的・効果的な施策を検討する。

がん検診の精度管理・事業評価について

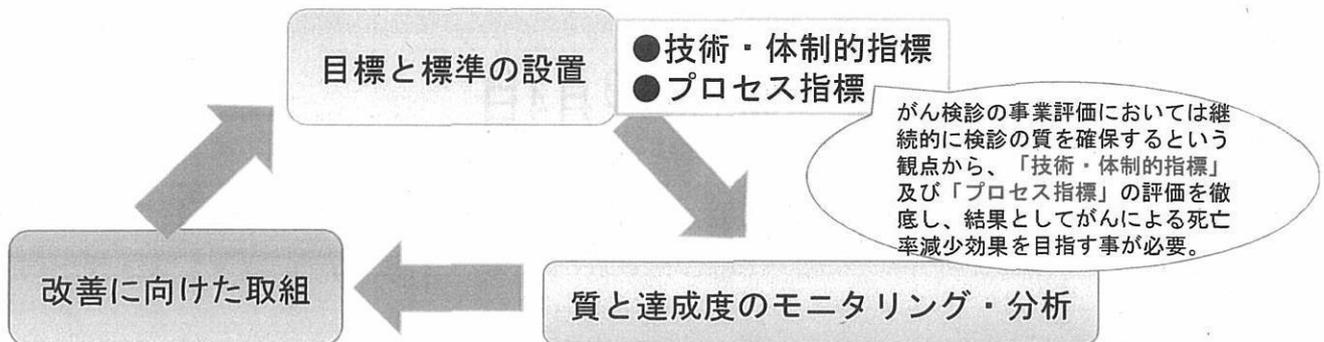
がん検診の精度管理を推進するためには、

「目標と標準の設置」

「質と達成度のモニタリング・分析」及び

「改善に向けた取組」

の3つの段階について、がん検診に関わる関係者（国、都道府県、市町村、検診実施機関等）の役割を明確にした上で、それぞれが果たすべき役割を着実に果たしていくことが求められる。



出典：平成20年3月がん検診事業の評価に関する委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」

技術・体制的指標

技術・体制的指標としては、「がん検診の事業評価に関する委員会」において平成20年3月にとりまとめられた「事業評価のためのチェックリスト」及び「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」がある。

- 「事業評価のためのチェックリスト」
 - ・ 乳がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用、市町村用、都道府県用）
 - ・ 子宮頸がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用、市町村用、都道府県用）
 - ・ 大腸がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用、市町村用、都道府県用）
 - ・ 胃がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用、市町村用、都道府県用）
 - ・ 肺がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用、市町村用、都道府県用）
- 「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」
 - ・ 乳がん検診、子宮頸がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診

チェックリストの例（胃がん検診 市町村用）

胃がん検診のためのチェックリスト【市町村用】

1. 検診対象者
 - (1) 対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成しているか
 - (2) 対象者に均等に受診勧奨を行っているか
2. 受診者の情報管理^{注1)}
 - (1) 対象者数(推計含む)を把握しているか
 - (2) 受診者数を性別・年齢階級別に集計しているか
 - (3) 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか
 - (3-a) 受診者数を過去の検診受診歴別に集計しているか^{注2)}
 - (3-b) 受診者を検診実施機関別に集計しているか

出典：平成20年3月がん検診事業の評価に関する委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」

プロセス指標

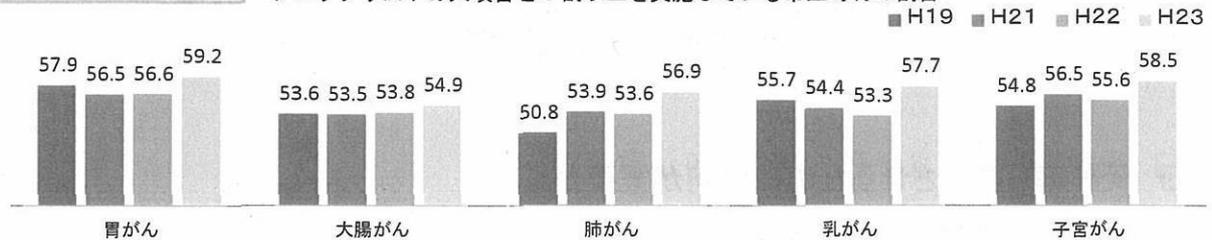
- プロセス指標としては
 - ・ がん検診受診率
 - ・ 要精検率
 - ・ 精検受診率、精密検査未受診率、未把握率
 - ・ 陽性反応的中度
 - ・ がん発見率 等がある。
- 「がん検診事業の評価に関する委員会」において「各がん検診に関する事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値」が提示された。

	許容値					目標値 全がん
	乳がん	子宮頸がん	大腸がん	胃がん	肺がん	
精検受診率	80%以上	70%以上				90%以上
未把握率	10%以下					5%以下
未受診率	10%以下	20%以下				5%以下
未受診率+未把握率	20%以下	30%以下				10%以下
要精検率	11.0%以下	1.4%以下	7.0%以下	11.0%以下	3.0%以下	
がん発見率	0.23%以上	0.05%以上	0.13%以上	0.11%以上	0.03%以上	
陽性反応的中度	2.4%以上	4.4%以上	1.9%以上	1.0%以上	1.3%以上	

出典：平成20年3月がん検診事業の評価に関する委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」

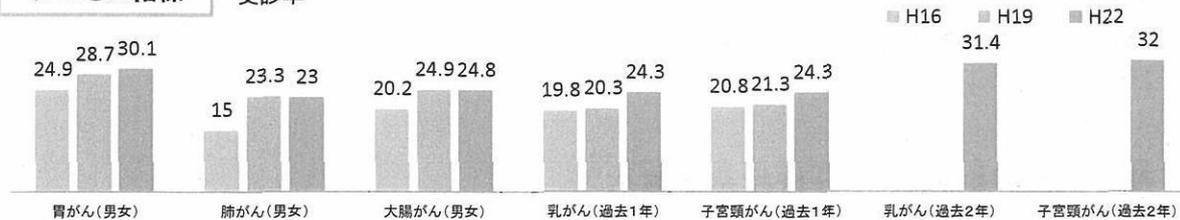
技術・体制的指標

チェックリストの大項目を8割以上を実施している市区町村の割合



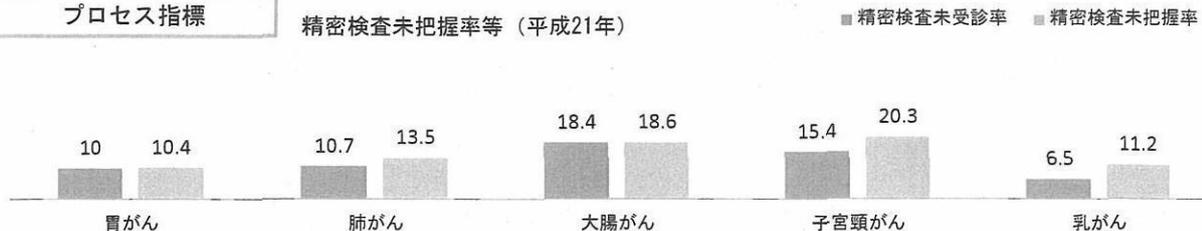
プロセス指標

受診率



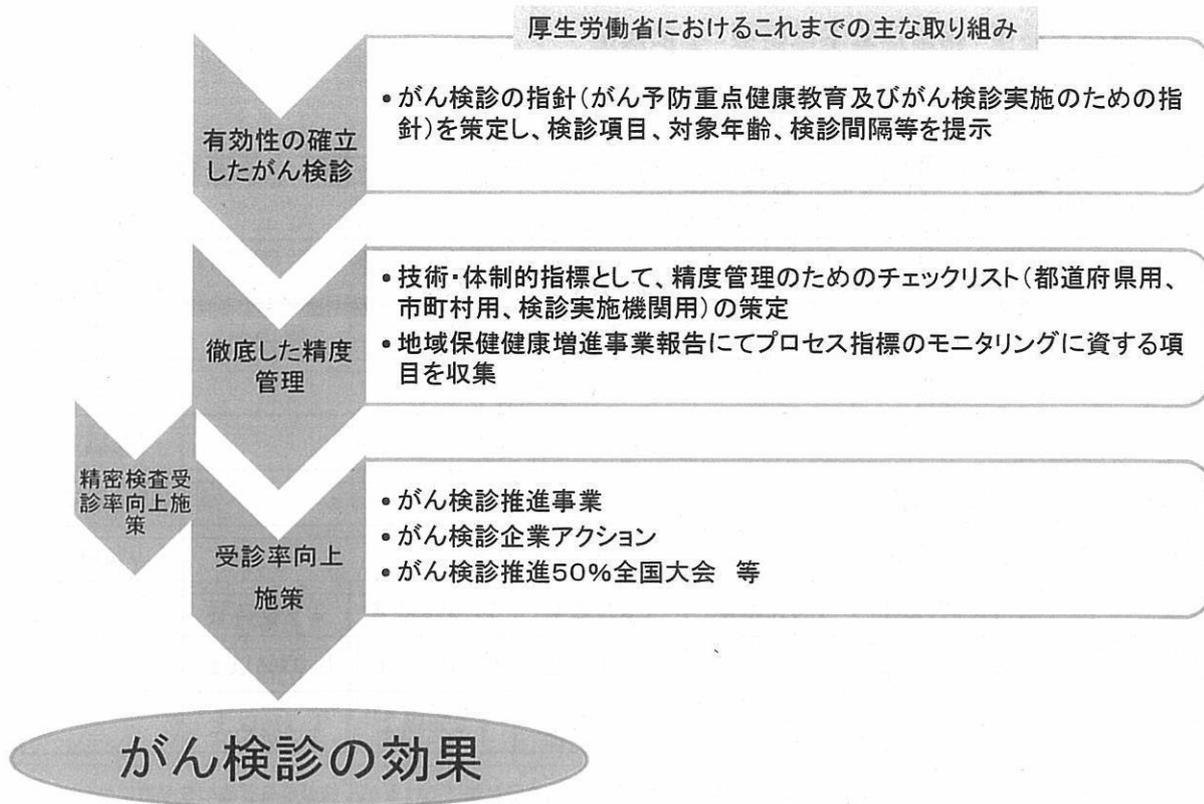
プロセス指標

精密検査未把握率等 (平成21年)



出典：標準的検診法と制度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究班調べ、平成22年地域保健・健康増進事業報告、平成22年国民生活基礎調査

がん検診の効果を発揮するためには、 有効ながん検診を正しく実施する必要がある



がん検診受診率及び精度管理の向上に 関する論点案

□ 受診率を向上させるためには何が重要か

- 確実な個別受診勧奨
- 検診受診の利便性の向上
- 費用負担の低減 等

□ 精度を向上させるためには何が重要か

- 技術体制的指標・プロセス指標に基づき、市区町村、検診実施機関、都道府県、国でのPDCAサイクルの構築
- 精度管理指標に関する情報公開 等

- 市区町村におけるがん検診の実施体制を把握するため、5ページのとおり、アンケート調査を実施してはどうか

平成24年度に実施する市区町村における がん検診の実施状況等調査について（案）

- 市区町村におけるがん検診の実施体制を把握するため、平成25年2～3月に都道府県を通じ、全市区町村に対するアンケート調査の実施を予定。
- 直近では、平成22年1月に全市区町村に対して調査を実施した。

<調査項目案>

- ・実施しているがん検診の検診項目、対象年齢、検診間隔の状況
 - ・指針以外のがん種について実施している検診の状況
 - ・検診台帳の整備状況
 - ・個別受診勧奨の実施状況
 - ・その他の受診率向上施策の実施状況
 - ・受診時の個人負担の有無及び金額
 - ・検診の予約の方法
(検診機関毎に連絡、市区町村のコールセンターに連絡、予約必要なし 等)
 - ・検診を受診可能な日数
 - ・受診可能な検診機関の範囲 (市町村内のみ、近隣市区町村でも受診可 等)
 - ・職域におけるがん検診の受診機会の把握の有無 等
- ※下線は平成22年には実施していない項目

